

平成23年度



かしわしの わかりやすい 予算

よさんの
「仕組み」と
「主な事業」



かしわしのわかりやすい予算について

マニフェストにおいて「わかりやすい予算書を作ります」と宣言しました。多くの市民のかたに「税金の使われ方」をチェックしてもらいたい、「柏市の財政構造」について理解を深めてもらいたいという思いからです。

市役所が法律に沿って作成する予算書は、市民から見れば非常にわかりにくいに尽きます。私が選挙に出る前に、市の財政分析を試みましたが、大変苦勞した記憶があります。今回の冊子は、「市政に関心はあるけれど、実は財政について全く知識がない」という方を主な対象として、網羅性は欠けますが、大まかには理解できることを目指しています。初めての試みで、まだ不十分な部分が多いかもしれません。「ここがわかりにくい」、「こういうことをもっと知りたい」など、たくさんのご意見やご質問をいただけると、次回以降の改善に大きく役立ちます。

柏市が行うべきことはたくさんありますが、税収の範囲で「市が行う事業」を絞っています。しかし、その絞り方については、様々な議論があります。「あの事業はやめて、この事業を行うべき」など、考え方の違いによって意見が異なります。そのような意見をぶつけ合い、参加者が納得をもって、ひとつの結論を導き出すことが、地方自治体が目指すべき自治であると言われています。

まずは、市の事業の一つ一つについて理解いただき、今まで以上に市政に関心をもってもらいたいと思います。その上で、「この事業は、こんなに費用がかかっているなら問題だ」、「この事業の費用を、あの事業に回したほうが全体としては良い」などの具体的で建設的な議論につながることを期待しています。

また、財政構造を今まで以上に把握していただき、行政サービスを取捨選択せざるを得ない状況を理解してもらいたいと考えています。

市政とは、お預かりした税金をどのように使うかを決めることです。それを議論するには、まずは現状の税金の使われ方や構造を理解することが第一歩です。この「わかりやすい予算書」がその一助になればと思います。

平成 23 年 6 月

柏市長 秋山 浩保

もくじ

「かしわしのわかりやすい予算」について	1
基礎知識編～予算とは～	2
歳入編・歳出編	5
平成 23 年度予算編成のポイント	9
平成 23 年度の主な事業	10
資料集	18
ホームページの紹介	22



基礎知識編

予算とは

Q 予算って何ですか？

A 予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間(4月から翌年の3月まで)にどのくらいの収入があるか、その収入を基にして、どのような行政サービスを行うのかを計画し、その費用を見積もります。これらの内容をまとめたものが予算書です。

柏市に入ってくるお金のことを「歳入」、使うお金のことを「歳出」と呼んでいます。

歳入

= 1年間の収入



柏市の会計



歳出

= 1年間の支出

会計 = 歳入と歳出を経理するためのお財布

Q 予算は、どうやって決まるの？

A 市長が予算案をつくり市議会へ提出します。 そして市議会の審議と議決によって予算が成立します。

柏市役所のそれぞれの担当部署は、市民のみなさまの意見や要望を聴き、1年間の行政サービスを検討します。市長は、各担当部署の案を自分の考えにそって予算案としてまとめ、市議会に提案します。

市民を代表する市議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議したうえで、市議会の議決により予算をきめます。

議会



選挙で選ばれた
市民の代表

議決

予算

調整

市長



選挙で選ばれた
市民の代表

執行

監視

公開

市民

例えば・・・
この6月の議会では、
東日本大震災の影響による
補正予算などが
審議されます。



Q 一度決められた予算は、変えないのですか？

A 変えられます。補正予算といいます。

台風のような自然災害の影響で、当初見積もった経費では足りなくなるなど、予定外の経費増加がある場合には、それに対応しなければなりません。その場合は、変更する予算案をつくり、当初予算と同じように市議会へ提出します。

概ね6月、9月、12月、3月の定例会で決めます。

Q

平成 23 年度の柏市の総予算規模は？

A

一般会計, 特別会計, 公営企業会計のすべての予算をあわせると1,995億1,800万円になります。

■一般会計

1,129億2,000万円

■特別会計

737億3,500万円

■公営企業会計

128億6,300万円



【一般会計】

普通, 柏市の予算といえば, この会計のことで, 教育, 福祉, 道路公園の整備など市の基本的な行政サービスを行うための会計です。

【特別会計】

特定の目的のための会計予算で, 国民健康保険料などの特定の収入によってその会計の事業を行うため, 一般会計とは別に収入と支出を経理します。柏市には, 11の特別会計予算があります。

【公営企業会計】

民間企業と同じように, 事業を行い収益をあげて運営している予算です。柏市には, 2つの公営企業会計予算があります。

介護保険事業
170億5,800万円

下水道事業
127億8,000万円

後期高齢者医療事業
33億5,000万円

国民健康保険事業
387億100万円

その他

- ・公設市場事業
- ・公共用地取得事業
- ・駐車場事業
- ・介護老人保健施設事業
- ・北柏駅北口土地区画整理事業
- ・学校給食センター事業
- ・母子寡婦福祉資金貸付事業

18億4,600万円

■病院事業会計

6億4,600万円

■水道事業会計

122億1,700万円





Q

他の市と比べるとどうですか？

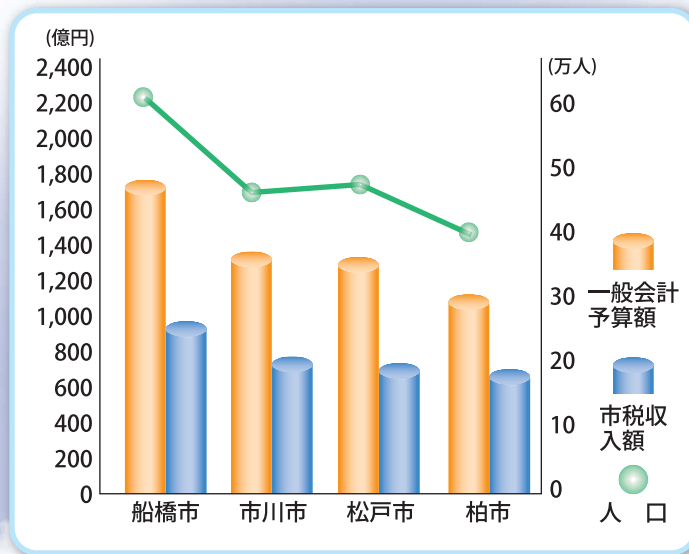
A

柏市の人口規模に見合った予算額です。

予算の規模は、だいたい人口に比例したものになります。しかし、大きな建設事業などがある年度の予算規模は大きくなります。平成23年度の一般会計予算は、前年度に比べて0.9%増加し、過去最大規模となっておりますが、子ども手当などの特別な増加要因があるためです。

子ども手当などの特別な影響を除いた予算額では、前年度を1.1%下回る、緊縮型の予算となっています。

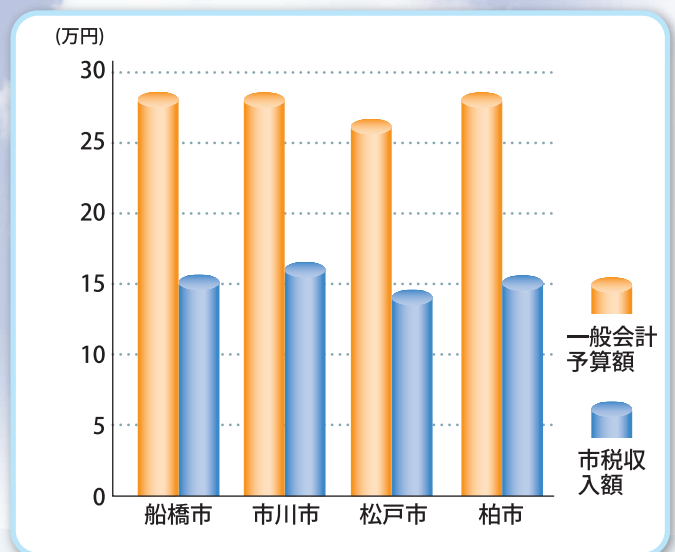
■一般会計予算額



人口に比例



■市民1人あたり

1人あたりは
ほぼ同じ

それでは、柏市の一般会計の歳入・歳出予算（平成23年度）はどんな内容になっているのでしょうか…？

※本文中の人口1人あたり(柏市)については、国勢調査速報値に基づく平成23年1月1日付け常住人口404,742人を使用しています。



歳入編



Q

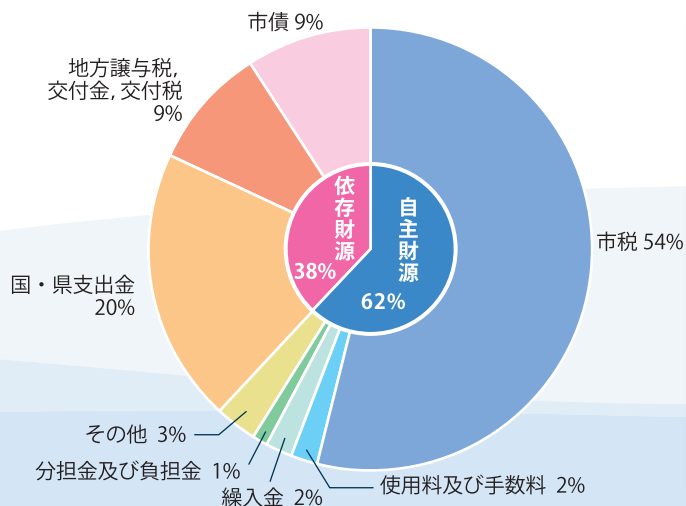
一般会計では、どんな歳入があるの？

A

一般会計の歳入には、市税や国・県からの歳入、銀行などからの借り入れや施設の使用料などがあります。

■一般会計歳入予算

項 目	説 明	金 額	市民 1 人あたり
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	706 億 9,006 万円	174,655 円
市 税	みなさまから柏市に納めていただいた税金です。	613 億 5,700 万円	151,596 円
分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。	14 億 1,987 万円	3,508 円
使用料及び手数料	市の施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。	21 億 2,739 万円	5,256 円
繰入金	各種基金（貯金・運用資金）を取り崩してお金を使います。	17 億 6,512 万円	4,361 円
その他	寄付金、不動産の売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金などです。	40 億 2,068 万円	9,934 円
依存財源	国や県から交付されたり、割り当てられたりする財源や市債（借金）のことです。	422 億 2,994 万円	104,338 円
地方譲与税、交付金、交付税	みなさまが国に納めた税金の一部です。使いみちは自由です。	97 億 5,500 万円	24,102 円
国・県支出金	みなさまが国や県に納めた税金の一部です。使いみちは決められています。	228 億 9,634 万円	56,570 円
市 債	銀行などからの借り入れ（借金）です。	95 億 7,860 万円	23,666 円
計		1,129 億 2,000 万円	278,993 円



歳入 予算のポイント



一般会計予算のうち 6 割が
自主財源です。

自主財源が多いほど、財政が安定し、自主的な事業をより多く行うことができます。自主財源の大部分は市税です。このため、定住促進や企業誘致を推進し、経済の活性化に取り組む必要があります。

市債残高の推移は19ページへ
財源別歳入の推移は20ページへ



Q

柏市に入ってくる税収は、何種類あるの？

A

柏市に直接入ってくる税(市税)は、7種類あります。

市税の種類		平成 23 年度 予算
個人市民税	市民の方が給与などの所得に応じて納める税です。	265 億 400 万円
法人市民税	柏市内の会社が収益などに応じて納める税です。	32 億 7,800 万円
固定資産税	土地や家屋などを所有している方が納める税です。	230 億 1,800 万円
軽自動車税	軽自動車などを持っている方が納める税です。	3 億 300 万円
市たばこ税	たばこを買った方が納める税です。	20 億 500 万円
事業所税	市内の一定規模以上の会社が納める税です。	12 億 5,500 万円
都市計画税	市街化区域に土地や建物を持っている方が納める税です。	49 億 9,300 万円

Q

なぜ、借金(市債)をするの？

A

借り入れは、学校や道路など公共施設の建設の経費を調達するときに行います。なぜ借り入れをするかというと、理由は2つあります。1つは、公共施設整備に要する経費は多額であるため一度に支出するには負担が大きいことです。そしてもう1つは、これらの公共施設は何十年と使用するものであるため、現在税金を納めている市民のみなさまだけではなく、将来使用する市民のみなさまにも借り入れの返済という形で公平に負担していただくためです。

■市債を使わないで事業を行うと



■市債を使うと





歳 出 編

[目的別]

Q

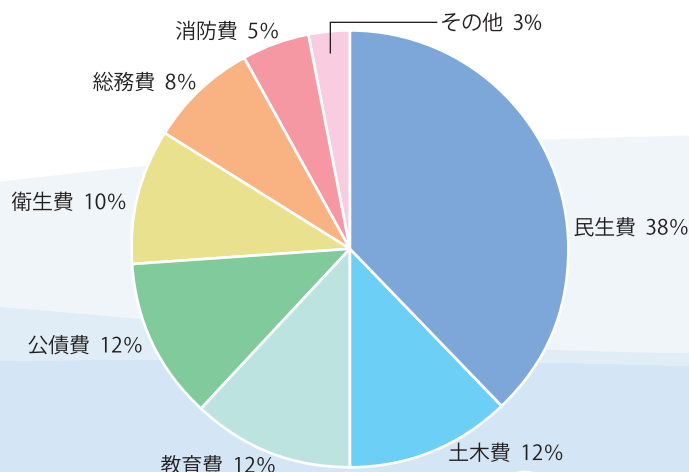
どんな分野(目的)の歳出があるの？

A

柏市の歳出は、福祉、農林水産業、土木、教育などの分野にわけて使われています。(これを目的別歳出予算と呼んでいます。)

■一般会計歳出予算(目的別)

目的名称	説 明	金 額	市民 1 人あたり
議 会 費	議員の報酬や議会事務局職員の人件費、議会運営などにかかる経費です。	7 億 7,835 万円	1,923 円
総 務 費	庁舎などの管理、企画調整、財政管理、市税の賦課徴収、戸籍住民基本台帳、選挙など市役所の全般的な仕事にかかる経費です。	85 億 5,487 万円	21,137 円
民 生 費	児童、高齢者、心身障害者などの社会福祉施設の管理運営や生活保護などにかかる経費です。	423 億 1,688 万円	104,553 円
衛 生 費	医療、公衆衛生、精神衛生、ごみなどの一般廃棄物の収集処理などにかかる経費です。	108 億 1,847 万円	26,729 円
労 働 費	労働者の福祉向上や就労支援などにかかる経費です。	9,163 万円	226 円
農林水産業費	農林漁業の振興、技術の普及などにかかる経費です。	5 億 8,964 万円	1,457 円
商 工 費	商工業の振興、中小企業の育成、企業誘致などにかかる経費です。	21 億 382 万円	5,198 円
土 木 費	道路・河川・住宅・公園などの各種公共施設の整備や、これらの施設の維持管理にかかる経費です。	135 億 2,088 万円	33,406 円
消 防 費	火災、風水害、地震等の災害から市民を守るための経費です。	58 億 6,692 万円	14,496 円
教 育 費	学校教育、社会教育などの教育行政(学校の建設・管理、生涯学習、文化財保護など)にかかる経費です。	140 億 3,225 万円	34,670 円
災 害 復 旧 費	大雨、暴風、地震などの災害により、被災した施設の復旧にかかる経費です。	0 万円	0 円
公 債 費	事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債(借金)の返済金です。	137 億 811 万円	33,869 円
諸 支 出 金	他の支出科目に含まれない経費(柏市では、土地開発基金、公共用地取得事業特別会計への繰出金)をまとめたものです。	2 億 3,818 万円	588 円
予 備 費	緊急に支出を必要とする場合に備えて用意している経費です。	3 億円	741 円
計		1,129 億 2,000 万円	278,993 円



目的別歳出 予算のポイント



民生費と衛生費で 5 割を占めています。

昨年と比べると・・・

- 景気回復の遅れによる雇用情勢の悪化などから生活保護費が増大(民生費)
- 少子化対策としてこども医療費や個別予防接種委託などを拡充(衛生費)



[性質別]

Q

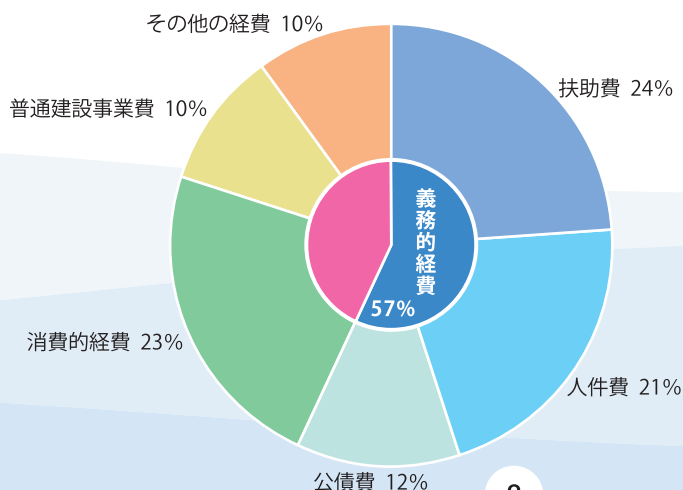
どんな性質を持った経費に分類できるの？

A

目的別の歳出予算を、人件費や投資的経費などの性質別にわけると歳出予算の特徴を違った観点から見ることができます。

■一般会計歳出予算(性質別)

性質名称	説明	金額	市民 1 人あたり
義務的経費	人件費・扶助費・公債費を義務的経費といいます。これらの費用は、毎年必ず支出しなければなりません。	637 億 2,168 万円	157,438 円
人件費	職員の給料などにかかる費用です。	239 億 9,168 万円	59,227 円
扶助費	生活保護費、障害者支援費などの福祉や医療にかかる費用です。	260 億 2,213 万円	64,293 円
公債費	事業を行うために過去に借り入れた市債(借金)の返済にかかる費用です。	137 億 787 万円	33,868 円
投資的経費 (普通建設事業費)	道路や学校などの建設や大規模改修など都市基盤の整備にかかる経費です。	114 億 5,251 万円	28,296 円
補助	普通建設事業のうち国からの補助があるもの。	48 億 3,947 万円	11,957 円
単独	普通建設事業のうち国からの補助がないもの。	66 億 1,304 万円	16,339 円
消費的経費	将来に形を残さないで、支出の効果が短期間で終わる経費です。	261 億 2,088 万円	64,537 円
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などです。	184 億 9,573 万円	45,698 円
維持補修費	施設の維持管理の費用です。	8 億 1,921 万円	2,024 円
補助費等	一部事務組合に対する負担金などです。	68 億 594 万円	16,815 円
その他の経費		116 億 2,493 万円	28,722 円
積立金	各種基金(貯金・運用資金)への積立金です。	1,949 万円	48 円
投資・出資金	北千葉広域水道企業団と病院事業会計に対する出資金です。	1 億 4,219 万円	351 円
貸付金	社会福祉施設整備貸付金や中小企業融資資金預託金など市が一時的に貸したり預けたりする費用です。	14 億 9,710 万円	3,699 円
繰出金	特別会計の収入を補うための費用です。	96 億 6,615 万円	23,883 円
予備費	緊急に支出を必要とする場合のための費用です。	3 億円	741 円
計		1,129 億 2,000 万円	278,993 円



性質別歳出 予算のポイント



6割を義務的経費が占めています。

昨年と比べると・・・

- 少子高齢化・景気低迷の対策、医療費の拡充などにより扶助費が大きく増加
- 職員定数、手当などの削減で人件費が減少
- 過去に借りたお金の返済額が増加

ほかにも・・・

- 大規模な建設事業の見直しで普通建設費が減少

性質別歳出と扶助費の推移は 21 ページへ

平成 23 年度

予算編成のポイント



厳しい
財政状況

平成 21 年度決算の経常収支比率 96.6%
(詳しくは 18 ページを参照)

後期基本計画の
スタート

平成 23 年度
予算編成方針

行政経営方針

平成 23 年度から平成 27 年度
までの 5 年間が対象期間
(詳しくは H P を参照)
ホーム ▶ 市政・広報 ▶ 計画・取り組み
▶ 第四次総合計画 ▶ 柏市第四次総合計画
後期基本計画 (H 23 年度～H 27 年度)

後期基本計画における重点施策を推進
するために策定 (詳しくは H P を参照)
ホーム ▶ 市政・広報 ▶ 行政改革
▶ 第四次行政改革
▶ 行政経営方針 (第四次行政改革大綱)

◆ 事業の重要性・優先性等をいちから見直し

→ 事務事業の見直しにより、57 事業 約 4 億 7 千万円を削減

◆ 後期基本計画の重点テーマへの予算配分

「笑顔で子育てができるまちづくり」 「高齢者が元気なまちづくり」
「産業に活気があり人が集まるまちづくり」 「市民が安全・安心に暮らせるまちづくり」
「人と環境にやさしい低炭素先進都市のまちづくり」 ※協働のまちづくり (共通理念)

◆ 行政経営方針・事業仕分けの結果の反映

→ 事業仕分けの結果の反映により、38 事業 約 1 億 9 千万円を削減

◆ 自主財源の確保 (徴収金の収納率向上、受益者負担の適正化)

◆ 維持管理経費の節減 (既存施設の最大限活用、計画的修繕)

◆ 市債残高の縮減 (新規発行は当該年度の元金償還額以内)

最終目標である柏市の将来都市像

みんなでつくる安心、希望、支えあいのまち 柏
の達成を目指して

それぞれの主な事業の紹介は次のページから…。